

ハリケーン後の米国経済と7-9月期決算の見通し

- 17年8月末から9月にかけて大型ハリケーンが米国を直撃する中でも、足元の経済指標は米国経済の底堅さを示唆。
- 9月の製造業・非製造業景気指数は04~05年以来の高水準に上昇。新車販売は買い替え需要が押し上げ。
- 好調な経済指標から米国株は史上最高値を更新。製造業景気指数が底を打った15年末頃から上昇相場が続く。
- 今後の市場の注目は7-9月期の米企業決算の動向に。経済活動の好調が企業業績を押し上げると期待される。

ハリケーン襲来後も米国経済は底堅さを維持

2017年8月末から9月にかけて大型ハリケーン(ハービー、イルマ)が米国を直撃しましたが、足元の経済指標は米国経済が底堅さを維持していることを示唆しています。

米供給管理協会(ISM)が公表した9月の製造業景気指数は2004年5月以来の高水準(60.8)へ上昇し、非製造業の景気指数も2005年8月以来の高水準(59.8)となりました(図1)。大型ハリケーンによる被害の影響から、製品納期の遅れや原材料価格の上昇はみられたものの、生産活動や受注、雇用などは改善基調が維持されました。

また、9月の米新車販売台数は前年比6.1%増の152.4万台と、市場予想(0.4%増)を大きく上回る結果となりました。大型ハリケーンの洪水被害による自動車の買い替え需要が販売の押し上げ要因となったとみられています。

経済指標好調に支えられ米国株は最高値を更新

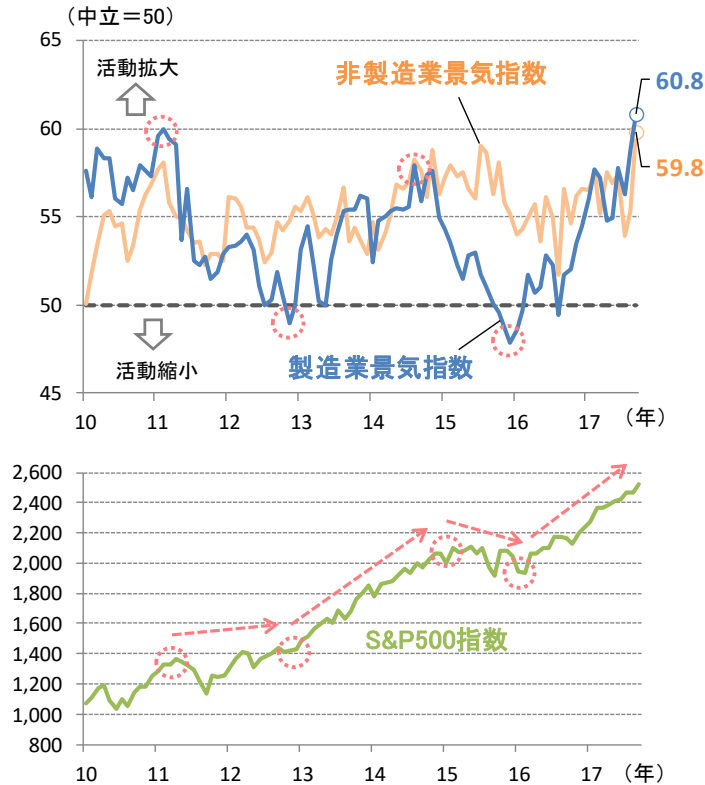
好調な経済指標に支えられ、米国株(S&P500指数)は史上最高値を更新しています(図1)。米国の景気サイクルと米国株の関係を見ると、製造業景気指数が底を打った2015年末頃から米国株の上昇相場が継続しています。

7-9月期の米企業決算の出だしは堅調

今後の市場の注目は2017年7-9月期の米企業決算の動向に集まりそうです。10月4日時点でS&P500指数採用銘柄のうち21社が7-9月期決算を公表する中、18社(約86%)の一株当たり利益が市場予想を上回るなど、決算発表の出だしは堅調となっています。

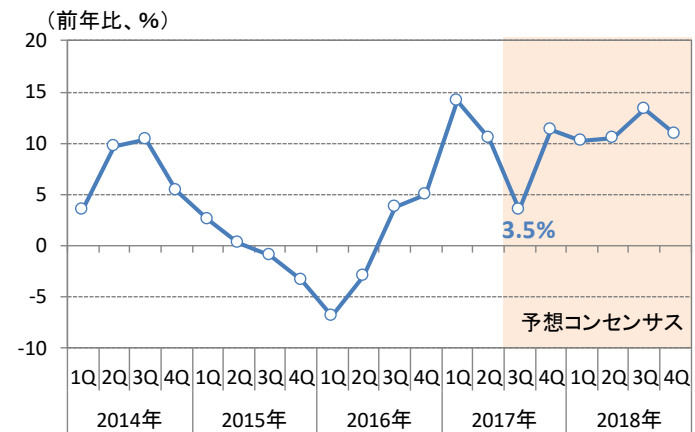
ファクトセットのコンセンサス集計によれば、2017年7-9月期のS&P500指数の一株当たり利益は前年比+3.5%増と予想されています(図2)。7-9月期は二桁増益となった上半期から増益率の鈍化が見込まれるものの、経済活動の好調が業績押し上げ要因になると期待されます。

図1: 米製造業・非製造業景気指数とS&P500指数



(出所)米供給管理協会(ISM)、ブルームバーグ
(期間)2010年1月~2017年9月

図2: S&P500指数の一株当たり利益(EPS)伸び率



(出所)ファクトセット (注)予想は2017年9月29日時点

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としたのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。